

仙台ターミナルケアを考える会

第133回「生と死」のセミナー

シンポジウム

# 「宮城県における緩和ケアの現状」

～ 緩和ケア病棟と緩和ケアチームの活動 ～

とき 平成26年 **11** 月 **22** 日(土)13:30～15:30

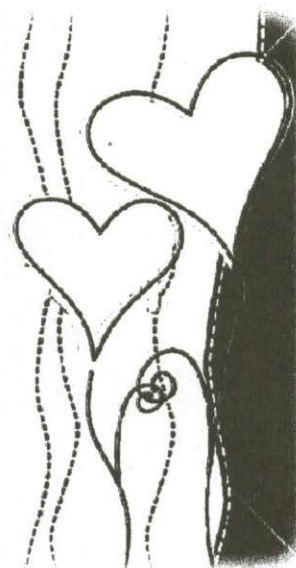
ところ 仙台市医師会館・2階多目的ホール

(地下鉄河原町駅 北口より徒歩) ※駐車場はありません、公共交通機関をご利用下さい

参加費 500円 (当会会員は無料)

## シンポジスト

- 牛坂朋美氏： 光ヶ丘スペルマン病院  
ホスピス 看護師長
- 中保利通氏： 東北大学病院  
緩和医療科 科長
- 阿部京子氏： 宮城県立がんセンター  
緩和ケア病棟 看護師長
- 高橋通規氏： 仙台医療センター  
緩和ケア 内科部長
- 小笠原鉄郎氏： 宮城県立がんセンター  
緩和医療科 科長  
(コーディネーター)



## ◇内容

平成10年5月、県内に初めて緩和ケア病棟が誕生しました。終末期医療に光が差し込んだ瞬間です。あれから16年。現在、光ヶ丘スペルマン病院、東北大学病院、宮城県立がんセンターの3病院に緩和ケア病棟が設置されております。さらに各医療機関では院内に緩和ケアチームが置かれ、がん患者と家族を専門的に支援する体制が整ってまいりました。

今回は、県内の緩和ケアの現状についてそれぞれの立場からお話していただきます。

主催：仙台ターミナルケアを考える会

事務局：〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4丁目7-2

みやぎいのちと人権リソースセンター2F (但し、毎週水曜日 13:00～16:00)

TEL・FAX 022-293-3275 E-mail:t-care@poem.ocn.ne.jp

ホームページ：<http://www17.ocn.ne.jp/~terminal/index.html>